

# 新会社設立 車両の安全運転を支援

## 3年以内に顧客5000台

オリコンサル



新会社「株式会社トータルフリートサービス」の設立記者発表  
(左)オリエンタルコンサルタンツ(株)トータルフリートサービス

新会社設立で握手する3者（左から野崎社長、大西社長、美濃部社長）

2億円規模の受注獲得をめざすとともに、発

展途上国など海外への展開も図る方針。入社1年目の新人営業マンの10人に7人が車両事故を起こすという背景から、設立した新会社では企業や団体が保有する車両に対する交通安全のトータルマネジメントを推進。

で一元管理。蓄積した映像および運行データを分析・活用し、顧客に安全運転コンサルティングサービスを展開する。既に同サービスは1月からサービスを開始しており、大手外資系製薬会社と契約し37台がサービスを利用。過失事故発生件数は導入前の約5分の1にあたる9件まで減少しているという。車録のサービスコストは1台あたり月額3000円程度で、次の契約に向け、現在、数社が

導入検討に向けたテスト運用を、北九州市でも公用車1台を使用し、データの活用可能性を実験している。

オリエンタルコンサルタンツの野崎秀則社長は、「起業家精神を持つ人材の育成とグループ連携によるサービスの総合化」が新会社設立の目的であることを強調。将来的には発展途上国などを対象に3つのサービスをパッケージとして展開することや地域貢献もにらみ、国内でのサービスモデルを構築すると話した。また、トータルフリートサービスの大西康弘社長も「3年以内に5000台の顧客を獲得したい。車録だけで約2億円の受注獲得をめざしたい」と意気込みを述べた。新会社は4月1日に設立。社員数は7人。

オリエンタルコンサルタンツは、同社が100%出資する新会社「トータルフリートサービス」を設立したと発表した。車両の安全運転を支援す

る「車録（シヤールック）などを主力に据え置き事業を展開。3年以内に5000台、約

「車録（シヤールック）などを主力に据え置き事業を展開。3年以内に5000台、約

「車録（シヤールック）などを主力に据え置き事業を展開。3年以内に5000台、約

「車録（シヤールック）などを主力に据え置き事業を展開。3年以内に5000台、約